

# UNIXサーバー構築

---

## 第14章 WEBサーバーの設定2 II

# ユーザーのホームディレクトリの公開

---

## ■ ユーザーのホームディレクトリの公開

一般には/var/www/htmlなどをDocumentRootにして公開することが多いです。ここでは、DocumentRootで設定したものでなく、ユーザーのホームディレクトリ(/home/ユーザー名)内のファイルをWebサーバ上で公開することができます。

**\* public\_htmlフォルダ直下に設定したものが公開されます。**

## ユーザーのホームディレクトリの公開設定

---

### ■ ユーザーのホームディレクトリの有効化

次のコマンドを実行して有効化を行います。

**sudo a2enmod userdir**

### ■ 設定ファイルの確認

**/etc/apache2/mods-enabled/userdir.conf**

### ■ 公開用のディレクトリを作成

**mkdir public\_html**

# バーチャルホスト

---

## ■ バーチャルホストとは

バーチャルホストを利用するとURLやIPアドレスにより表示するWebページを変更することができます。

## ■ 設定ファイル

/etc/apache2/sites-available/vhost.conf

**\* ファイル名は任意。～.conf名でOKです。**

## ■ 設定後の有効化

`sudo a2ensite vhost`(ファイル名、.conf以外の部分)

**\* 有効化が終了したら、`sudo restart apache2`で再起動します。**

# バーチャルホストの設定ファイル例

---

## ■ 設定ファイルの例

comp.skills.jpのURLでアクセスした場合、DocumentRootを  
/var/www/html/comp/に変更します。/var/www/html/comp/内の規定ドキュメント(例 index.html)が表示されます。

```
<VirtualHost *:80>
```

```
    DocumentRoot "/var/www/html/comp/"
```

```
    ...URLがcomp.skills.jp時のWebページ
```

```
    ServerName comp.skills.jp
```

```
</VirtualHost>
```

# hostsファイルの編集

---

## ■ hostsファイル

バーチャルホストでURLを利用する場合、DNSサーバなどを 使用して名前解決をする必要があります。ここでは、DNSサーバの代わりにhostsファイルを編集します。

## ■ 設定ファイル

/etc/hosts

(例)書式例

127.0.1.1(IPアドレス)      ie2a99(ホスト名)